

明日を生きる力に

仲嶺 真弓

2017.10.14（土）に運動会を無事に終わることができました。

今年の運動会も笑いあり、涙あり、手に汗握る瞬間ありと、子どもたち一人ひとりにドラマがありました。

アトム共同福祉会の運動会は、“できる、できない”ということに重きを置くのではなく、“できたこともできなかったことも、子どもたち自身が心で何を感じたかが一番大事”と考えています。できた心地よさも、できなかった悔しさも次の瞬間を生きる力に変えてほしいと思いながら、職員は日々子どもたちを見守り関わっています。だから決して運動会がゴールではなく、運動会という行事を通して新たに知れる子どもの姿を拾い集め、後半の保育に繋いでいます。

子どもたちにとっては、たくさんの大人に見られている中で、運動会という場に参加していることだけでもとても大きな体験です。それだけでも十分と私は思うのですが、親心はそうはいかない割り切れない思いがあるということもよく聞きます。我が子がつまづかないようにと心配するあまり、転ばぬ先の杖（できるように練習させるなど）を用意したくなるのも親心なのだろうと理解します。けれど、子どもの人生は子ども自身が切り開いていくもので、親が一生涯転ばぬ先の杖を用意してやれるものではないのです。子ども自身が生きる力を身につけていくことが大切で、明日を生きる力に変えていける根っこになる部分が、感じる心、考える心を育むことなのだと思えます。だからこそ、大人は転ばぬ先の杖を用意してやることに力を注ぐのではなく、子どもたちが心で何を感じ、どう思ったかを大切に、その気持ちに寄り添うことに力を注いでほしいと願います。運動会の園長挨拶で保護者の方をお願いしたことはただ一つ。「この瞬間に感じたことを子ども自身が明日を生きる力にできるよう、まずは今日この場（運動会）に参加できたことを労ってやってください。」

※当日は0歳～3歳児の保護者の方の保育協力のおかげで、多くの職員で4・5歳児の運動会を見守ることができました。ありがとうございました。

【 育む会マジックショー&つばさ村バザー、予定通り開催しました 】

台風22号の行方に翻弄されながらも開催し、無事終わることができました。朝9時過ぎの時点では警報も出ていなかったのに、癒るメン（父有志の会）もWE WISH（職員有志の会）もすでにバザーの準備もスタートさせていました。そして15分後ぐらいに警報が…！この時点で中止にした方がいいのかどうか決断を迫られ葛藤しました。結果、終了時間を前倒しにして、そのまま続行することにしました。続行決定後はどんどん雨脚も激しくなり、これはもしかしたら来場客は0人なのではないだろうか…。判断を誤ってしまったか…。と思う瞬間もありました。けれど雨の中来場し、傘の下に見えた卒園児の表情はどこか楽し気で、その姿が心に沁み中止にしなくてよかったと思えました。

当日の参加家庭数は33家庭。卒園児は14名。姉妹園のアトムからも数家庭の参加がありました。

マジックショー開園10時にはホールの客席はますますの入りになっていました。今年のマジックショーは、若手職員中心で構成し、“ちびまる子ちゃん一家”に扮して繰り広げるショートマジックでした。配役は・・・

まるこWキャスト ⇨ 古井 亜梨咲（つばさ5歳児担任）・丸山 美奈子（アトム4歳児担任）

お父さん ⇨ 谷野 則文（アトム4歳児担任）

お母さんWキャスト ⇨ 山本 知輝（つばさ3歳児担任）・坂本 愛美（アトム1歳児担任）

お姉さんWキャスト ⇨ 桶谷 歩美（アトム給食員） ・山本 知輝（1人2役）

ともぞうじいさん ⇨ 吉井 泉（アトム3歳児担任）

ばあさんWキャスト ⇨ 岡本 華奈（つばさ5歳児担任）・前川 雅（つばさ0歳児担任）

でした。前日の練習までスムーズにいかないこともありましたが、当日の舞台はなかなかの出来で、観客の子どもたちが、職員の簡単なマジックと寸劇に魅せられていくのを感じ、大成功で幕を下ろすことができました。

いつも、アトム共同福祉会2園のこと、保護者のこと、職員のことを育み・サポートしてくれている“育む会”のメンバーの参加も多く、マジックショー終了後もつばさ村バザーの癒るメンコーナーを手伝い盛り上げてくれました。ありがとうございました。